

「第 23 回 学生フォーミュラ日本大会 2025 事業報告書」

公益社団法人自動車技術会

名 称	第 23 回 学生フォーミュラ日本大会 2025ーものづくり・デザインコンペティションー
主 催	公益社団法人自動車技術会 （会長 中畔 邦雄 日産自動車株式会社）
後 援	経済産業省、国土交通省、文部科学省、愛知県、常滑市、静岡県、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、NHK、TBS、朝日新聞社、毎日新聞社、毎日新聞社 中部本社、日刊工業新聞社、日刊工業新聞社 名古屋支社、時事通信社 名古屋支社、日本経済新聞社、日刊自動車新聞社、中日新聞社、東愛知新聞社、中部経済新聞社、CBC テレビ、テレビ愛知、東海ラジオ放送
協 賛 団 体	産業技術総合研究所、交通安全環境研究所、日本自動車研究所、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、公立大学協会、国立高等専門学校機構、日本工学会、日本ゴム工業会、計測自動制御学会、潤滑油協会、日本機械学会、日本工学教育協会、日本工作機械工業会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本自動車タイヤ協会、日本設計工学会、日本陸用内燃機関協会、溶接学会、日本自動車車体工業会、日本自動車整備振興会連合会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車連盟、日本自動車販売協会連合会、土木学会、全国自動車大学校・整備専門学校協会、電気学会
会 場	Aichi Sky Expo(愛知県常滑市セントレア)
会 期	2025 年 9 月 8 日(月)～13 日(土) (6 日間)
参 加 者	期間中の延べ人数 23,491 名 (2024 年:19,956 名) (延べ人数内訳 : チーム:13,306 名、スタッフ:2,371 名、ゲスト/プレス:7,814 名)
観 覧 料	無料
その他イベント	・スポンサー企業 PR ブース開催(9/11-13 の 3 日間、出展 113 社) ・愛知県、静岡県ブース(各 8 社)を併設し、地元の名産品 PR や技術展示を実施
参加チーム状況	本大会参加チーム:83 チーム(国内 72(ICV54・EV18)、海外 11(ICV4・EV7)) 車検通過チーム:64 チーム(国内 56(ICV43・EV13)、海外 8(ICV3・EV5)) エンデュランス完走チーム:45 チーム(国内 40(ICV33・EV7)、海外 5(ICV2・EV3))

学生フォーミュラ日本大会 2025 現地開催報告

開催期間:2025 年 9 月 8 日(月)～2025 年 9 月 13 日(土)

開催場所:Aichi Sky Expo(愛知県常滑市セントレア)

1. 大会概要

学生フォーミュラ日本大会は、国内外の大学生が自作のフォーミュラカーを持ち寄り、車両設計・製作能力や技術力を競う大規模なコンペティションです。2025 年で 23 回目の開催となる今大会は、Aichi Sky Expo(愛知県常滑市セントレア)にて 83 チームが現地参加し、開催いたしました。

2. 大会の見どころ

大会は静的審査と動的審査の 2 つのセッションに分けて、合計 1,000 点満点で審査します。

動的審査に進むためには車検を通過しなければならず、車検合格が鍵を握ります。

- **静的審査**(325 点)
 - プレゼンテーション審査:車両の製造販売というシナリオでプレゼンテーション力を評価する(75 点)
 - コストと製造審査:車両製造時の手法やそのコストなどの検討力、管理力を評価する(100 点)
 - デザイン審査:車両を通じてチームのエンジニアリング力を評価する(150 点)
- **動的審査**(675 点)
 - アクセラレーション:0-75mの加速性能を競う(100 点)
 - スキッドパッド:車両の旋回性能を競う(75 点)
 - オートクロス:直線・ターン・スラロームのコースによる走行性能を競う(125 点)
 - エンデュランス:約 20Km のコースを走行し、車両の走行性能と耐久性を競う(275 点)
 - 効率:エンデュランス走行時の消費効率を評価する(100 点)

3. 2025 年のトピックス

今大会は ICV と EV の完全クラス分けのもと、2019 年以来全ての審査(車検、静的審査、動的審査)を現地での開催となり、愛知県・常滑市を始めとする地元行政、ならびに後援協賛スポンサー各社様の多大なるご支援のもと、大きな事故もなく無事に終了いたしました。

また、チームピットやスポンサー企業 PR ブース(113 社+愛知県ブース、静岡県ブース)を昨年より拡大し、快適な環境のもとで出展各社の皆様と学生達との交流が図られました。

大会 2 日目の開会式では地元愛知県・常滑市からのご支援のもと、大村愛知県知事、伊藤常滑市長にご来賓の挨拶を賜り、また大会 4 日目の交流会では和太鼓音楽集団「萌芽(ほうが)」様にも演奏いただき、会場を盛り上げていただきました。

競技審査結果においては、現地参加 83 チーム中、64 チームが車検合格し、うちエンデュランス完走チームが 45 チームと、前回大会を大幅に上回る数となりました。

＜現地参加チーム＞ 83 チーム （ ）は 2024 年実績

	国内	海外	合計
ICV	54 (49)	4 (5)	58 (54)
EV	18 (17)	7 (4)	25 (21)
合計	72 (66)	11 (9)	83 (75)

＜車検通過チーム＞ 64 チーム （ ）は 2024 年実績

	国内	海外	合計
ICV	43 (34)	3 (3)	46 (37)
EV	13 (10)	5 (1)	18 (11)
合計	56 (44)	8 (4)	64 (48)

＜エンデュランス完走チーム＞ 45 チーム （ ）は 2024 年実績

	国内	海外	合計
ICV	33 (22)	2 (1)	35(23)
EV	7 (6)	3 (0)	10 (6)
合計	40 (28)	5 (1)	45 (29)

また今大会では EV クラスの躍進により車検通過チーム、エンデュランス完走チームが増えました。海外チーム参加も前回大会より増え、グローバルな視点で技術や知識を共有する場となり、チーム間の交流が活発に行われました。

大会後半ではスポンサー企業各社様による PR ブースホールを併設し、全 113 社(前年 96 社)の企業が参加し、大会をさらに盛り上げて頂きました。各ブースでは昨年よりも多くの車両展示や製品紹介が行われ、参加者の関心を惹きつけると同時に、企業と学生や地元の方々との貴重な交流の場となりました。スポンサー企業各社様のご協力により、大会は単なる競技の場という枠を超え、より広範囲な充実した内容となり、活気のあるイベントとなりました。

今大会ではさらに、新たな来場者層へのアプローチとして、動的エリアに観覧スタンドを設置し、お子供連れの方や車椅子の方でも観戦しやすい環境を整備いたしました。

今後とも自動車に興味を持って頂き、未来のエンジニアを目指す子どもたちの夢を刺激するきっかけづくりができるよう、さらなる工夫を重ねて参る所存でございます。

＜来場者情報＞ （ ）は 2024 年実績

月日	9 月 8 日	9 月 9 日	9 月 10 日	9 月 11 日	9 月 12 日	9 月 13 日	計(延べ)
人数	2,192	2,726	3,503	4,485	5,091	5,494	23,491
	(1,859)	(2,360)	(2,779)	(3,893)	(4,291)	(4,774)	(19,956)

4. 成績発表

ICV クラスにおいて、「京都工芸繊維大学」が、4 連覇を達成しました。

EV クラスにおいては、成績が ICV クラスを上回る結果を残すチームも増えてきました。特に、オートクロス競技では EV が ICV を上回り、史上初となる EV 車両による上位 3 台独占となりました。(名古屋工業大学、名古屋大学、Jilin University)

<総合表彰>

●総合得点の上位 3 チーム:

【ICV クラス】

- 1 位: 京都工芸繊維大学
- 2 位: 同志社大学
- 3 位: 大阪大学

【EV クラス】

- 1 位: 名古屋大学 EV
- 2 位: 名古屋工業大学 EV
- 3 位: Jilin University EV

●経済産業大臣賞: 京都工芸繊維大学

●国土交通大臣賞: 名古屋大学 EV

●愛知県知事賞: 【ICV クラス】日本自動車大学校、【EV クラス】名古屋工業大学 EV

●常滑市長賞: 【ICV クラス】同志社大学、【EV クラス】名古屋大学 EV

●日本自動車工業会会長賞: 京都工芸繊維大学他、計 22 チーム

●日本自動車部品工業会会長賞: 【ICV クラス】岐阜大学、【EV クラス】富山大学 EV

賞の概要やその他の表彰は公式通知第 19 号をご確認ください。

●公式通知第 19 号:

[https://www.jsae.or.jp/files_publish/page/521/2025FSAEJ_OfficialAnnouncement_19_%20\(Revised%20No.18\)_1.pdf](https://www.jsae.or.jp/files_publish/page/521/2025FSAEJ_OfficialAnnouncement_19_%20(Revised%20No.18)_1.pdf)

5. まとめ

今大会も、地元地域の皆様ならびに後援・協賛スポンサー各社様より多大なご支援を賜り、多くのご来場者の方々に「学生フォーミュラ」の魅力を知っていただく良い機会となりました。特に、初めて学生フォーミュラを目にされた方々からは「こんなに迫力があるとは思わなかった」、「若い力の結集に感動した」など、多くの感想をいただきました。中でも、学生たちの情熱や技術の高さに感銘を受け、これからの日本のものづくりの未来に期待を寄せる声が非常に多く寄せられました。地元地域の皆様ならびに後援・協賛スポンサー各社様の温かいご支援のもと今大会の成功を収める事ができ、心より感謝申し上げます。



2025 年大会は 231 社のスポンサー様にご支援いただきました。



集合写真

